

部活動などの活躍

《陸上競技部》

第68回 荒川区民体育大会

第1位



女子100m ○○ ○○さん(2-1)
 女子走り幅跳び ○○ ○○さん(2-4)
 女子4×100mリレー ○○ ○○さん(2-1)、○○ ○○さん(2-4)、○○ ○○さん(1-2)、○○ ○○さん(1-2)

第2位



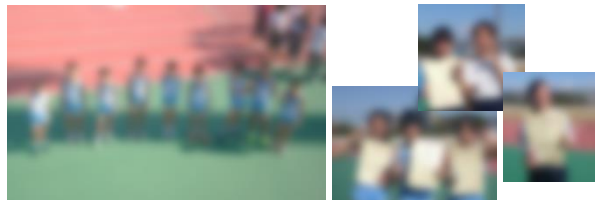
女子100m ○○ ○○さん(1-2)
 女子走り幅跳び ○○ ○○さん(2-1)
 女子800m ○○ ○○さん(1-3)

第3位



男子1500m ○○ ○○くん(1-4)
 男子100m ○○ ○○くん(1-2)
 女子走り幅跳び ○○ ○○さん(2-1)
 男子4×100mリレー ○○ ○○くん(1-2)、○○ ○○くん(1-4)、○○ ○○くん(1-2)、○○ ○○くん(2-2)

陸上競技部の皆さん



《バスケットボール部・男女》

荒川区中学校バスケットボール新人大会 第3位

なかよしまつりボランティア 感謝状



ボランティアの皆さん

南千住マイスターのコーナー

「チンチン」という出発音と共に下町の心を運んでいます。しかし、時は自動車の時代へと移り変わっていきま... 交通量が多くなると都電は渋滞の原因になり、徐々に地下鉄やバスへと移行してきます。さらに、財政再建のために、東京都は昭和42、第一次から第七次にかけての「都電撤去」を決定し、全路線を廃止することにしました。しかし、沿線住民、都民の強い要望もあり、ぎりぎりのところで荒川線だけが残されることになりました。荒川線は専用軌道が多かったことや代替のバス路線がなかったことが存続につながった要因とされています。こうして唯一残った「都電荒川線」が、私たちの足として、「チンチン」という出発音と共に下町の心を運んでいます。

「あらかわ」といえば「都電」、「都電」といえば「あらかわ」といっても過言ではありません。東京都唯一残っている「都電荒川線」はあまににも有名です。その始発着駅「三ノ輪橋停留所」が南千住の地にあります。都電のルーツは明治36年8月に東京馬車鉄道が動力を馬から電気に改め東京電車鉄道を開業したことに始まります。それを機に東京市街鉄道、東京電気鉄道が相次いで開業します。その後この三社が合併し、東京鉄道となりました。都電の正式名称は「東京都電車」。明治44年、東京市が東京鉄道を買収し、東京市電となったのが始まりです。同じ年、王子電気軌道が飛鳥山上下大塚間に開業しました。現在の都電荒川線の前身になる区間で、その後もいくつかの電車会社の開業や合併などを繰り返して、昭和17年には、東京市が王子電気鉄道を買収し、現在の早稲田王子三ノ輪橋の都電荒川線になります。

都電は昭和35年頃最盛期を迎え、41路線にもなり、都心部から品川、新宿、池袋、さらに周辺部まで、都内全域を網羅するほどでした。南千住の地域にも、現在の荒川線の他に、浅草〜南千住〜千住四丁目(北千住)を結ぶ路線なども通り、千住大橋の上も都電が走っていました。

しかし、時は自動車の時代へと移り変わっていきま... 交通量が多くなると都電は渋滞の原因になり、徐々に地下鉄やバスへと移行してきます。さらに、財政再建のために、東京都は昭和42、第一次から第七次にかけての「都電撤去」を決定し、全路線を廃止することにしました。しかし、沿線住民、都民の強い要望もあり、ぎりぎりのところで荒川線だけが残されることになりました。荒川線は専用軌道が多かったことや代替のバス路線がなかったことが存続につながった要因とされています。こうして唯一残った「都電荒川線」が、私たちの足として、「チンチン」という出発音と共に下町の心を運んでいます。

南千住の交通と産業

『都電荒川線』



千住大橋を渡る都電



題字:校長 齊藤 進



学校だより
 平成30年11月
 第89号
 荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

Be proud of our school uniforms!

校長 齊藤 進

本校では6年前の平成25年度から女子の制服を、3年前の平成28年度から男子の制服を変更しました。平成元年の開校以来女子はグリーンラインが入った紺のセーラー服、男子は黒色に金ボタンの詰襟でした。

変更のきっかけは今から8年前の6月に行われた修学旅行でした。とても暑い時期でバスを使わず歩くことが多い行程でした。神社仏閣等を見学するたびにジャンパースカート姿の女子生徒は汗だくでした。ジャンパースカートは脱ぐことができず暑さ調整が容易ではありません。このことが女子の制服を変える大きな要因となりました。

そこで学校評議員会やPTA実行委員会の賛同を得ながら職員会議等で検討し制服の変更を決定しました、その後業者が主催するファッションショーで当時最新モデルの現制服を「きちんと着るとかっこよく見える制服にしよう」とのコンセプトのもとに採用しました。制服業者は1校1デザインを基本方針としていますので今の制服は全国で本校だけのものです。夏と冬それぞれ異なったデザインも他校では見られない特徴となっています。さらに紺のソックスとローファーも同時に採用し、制服との一体感はさらに増しました。そして何より従来のセーラー服よりも価格を低くすることを採用の条件としました。

男子は黒の詰襟でしたが近隣の中学・高校と間違われることが多くあり、女子の制服の色と合わせ、新しいデザインの詰襟を採用しました。カラーが襟と一体となりホックが磁石となっていてとめ外しが容易になり、より機能性が高くなっています。また、女子と同様にローファーを採用し、制服との一体感をもたせました。

本校の制服はとても人気があり、生徒の満足度も高くなっています。学校内外を問わず制服を着用することは、南二中の看板を背負っていることとなります。南二中の生徒は誰もが「きちんと着るとこの制服の良さが生きる」ということを意識して、南二中の制服に誇りをもって学校生活を送りましょう。

Be proud of our school uniforms!
 ~制服に誇りをもとう!~

※ 近年「東京サクラトラム」という名称が併用されていますが、荒川区では従来通り「都電荒川線」の呼称を主に使用しています。

霜月祭（舞台発表）

南千住二中の文化祭「第30回霜月祭」の舞台発表が10月27日(土)と28日(日)の2日間にわたり行われました。27日(土)には、夏休みに参加したJRC三首都交流会、リーダーシップトレーニングセンター、区ワールドスクールについての活動報告がそれぞれの参加者から行われました。

28日(日)の発表は生徒会本部による開会式から始まりました。前生徒会役員の〇〇〇〇さん(3-3)のあいさつに続き、生徒会本部役員たちから**今年のスローガン「伝えろ！私たちの霜月祭～30年間の軌跡を乗せて～」**が発表されました。次に**霜月祭実行委員会委員長の〇〇〇〇さん(3-2)**が「**舞台、展示、合唱を通して、ご来場の皆さんに私たちの想いを伝えましょう**」と呼びかけると、会場から大きな拍手が送られました。はじめに**朗読部**の発表が行われました。**朗読劇「おぼけ煙突のうた」**は、かつて隅田川沿いにあった千住発電所の4本の大きな煙突にまつわる物語。見る場所により、3本や2本、はたまた1本に見えることからおぼけ煙突と呼ばれ南千住の地で親しまれました。少年たちの冒険談とそれぞれの役になりきった朗読に観客は聞き入っていました。つづいて**レスキュー部**からは、パワーポイントを使って、夏休みに行われた被災地派遣のようすや1年間の活動報告が行われました。

1年生の地域学習劇「伝説の先輩と南千住検定」では、伝説のジャンポール先輩に加え、セレナ、アカリ、シジリン、コノミンの南二中1年生の4人が南千住検定マイスターを目指して、南千住の史跡や神社・仏閣などをまわりながら歴史を紹介しました。**国語科の意見発表**では、1年生からは、〇〇〇〇さん(2組)が「**人種差別をなくす**」

の演題で、2年生からは、〇〇〇〇さん(1組)が「**ことば**」の演題で、3年生からは、〇〇〇〇くん(3組)が「**共に生きる**」の演題で、聞く人を引き込むたいへん説得力のある意見発表を行いました。

休憩を挟んで、**2年生の地域学習劇「OH MY DEMON!! ～あの神はいま…」**が上演されました。今年も、お馴染みの三代目神の三人とサザエさん一家やキャスターが登場し、千住に伝わる七不思議と妖怪たちがユーモアを交えて紹介されました。ラストには、**槇の屋の大蛇の御輿が生徒たちに担がれ登場**し、威勢の良いかけ声と迫力あふれる姿に会場は大いに盛り上がりました。

次に、各学年代表による**英語スピーチ**がありました。**1年代表の〇〇〇〇くん(3組)**は、「**The City Mouse and the Country Mouse**」と題して、田舎のねずみと都会のねずみの自慢話をユーモアあふれるスピーチで紹介しました。**2年生からは〇〇〇〇さん(1組)が、「Strawberries」と題し**

て、大好きな苺を見知らぬ婦人に食べられてしまったと勘違いした先生のお話を情感豊かに表現しました。**3年生からは〇〇〇〇さん(4組)が、「I Have a Dream」と題して、キング牧師の演説と黒人が法の元においてすべて平等で自由であるための活動を、気持ちを込めて堂々と発表しました。**

舞台の成功を陰で支えた皆さん

舞台発表はその陰で裏方として働く人々の力なくして成り立ちません。今年も実行委員や各学年の担当たちが照明や音響、衣装・小道具・大道具、舞台装置など様々な場面で活躍していました。生徒みんなで力を合わせて作り上げた舞台は大成功で幕を閉じました。実行委員の皆さん、裏方で働いてくれた皆さん、ありがとうございました。

霜月祭実行委員の皆さん、お疲れさまでした！



朗読劇

レスキュー部活動報告

英語スピーチ大会

10月31日(火)の午後、サンパール荒川にて、**第38回区連合英語スピーチ大会**が開催されました。1年生からは〇〇〇〇くん(3組)が、2年生からは〇〇〇〇さん(1組)が霜月祭と同じ発表をしました。3年生からは、〇〇〇〇くん(3組)が「**A movement to remember**」というタイトルで自作の意見文を英訳して発表。3人ともに夏休みから練習を重ねてきた成果を発揮し、会場から大きな拍手をいただきました。続く11月17日(土)には、**共栄学園にてレシテーションコンテスト**が行われました。南千住二中からは、2年生の〇〇〇〇くん(2組)と〇〇〇〇くん(2組)が参加。2人ともに発音と表現力を高く評価され、〇〇〇〇くんは**第3位入賞**にしました。

2年生 性教育講演会



小川先生による講演の様子

11月12日(月)の午後、**東京女子医科大学看護学部の小川久貴子先生を講師にお招きして**、2年生の「性に関する健康教育」が行われました。前半の全体会では「**思春期の心の変化**」「**男子と女子の身体の発達のちがひ、心と行動**」など「性」に関する知識や「**命**」の大切さ、そして**妊娠のリスクや性感染症、健康的なストレスの解消法**などについて、映像を交えながらお話しいただきました。後半はクラスごとに男女に分かれ、東京女子医科大学の学生さんを交えて、グループワークが行われました。ここでは、自分の将来の人生設計について考えてみました。「どのような人生を送ろうか。どんな人になりたいか。30歳頃はどうしていきたいか。」など中学生にとってははじめて向き合う自分の未来や家族のことをイメージして書いてみました。その後、**妊婦体験をしたり、新生児の人形を抱いてみるなどの体験で少しずつ将来の自分に実感**がわいてきた様子で、自分が大人になった時に体験する大切なこととして、**興味深げな表情に変わって**いきました。「生と性」について考え、正しい知識を得て、やがて将来に役立つとても大切なことを学ぶことができた体験となりました。

妊婦、育児体験に笑顔があふれます。

部活動などの活躍

《1年生俳句大会》

荒川区文化祭 59回俳句展示会 **優秀賞**

〇〇〇〇さん(1-1)

《英語スピーチ大会》

第31回共栄学園レシテーションコンテスト **第3位**

〇〇〇〇くん(2-2)

《南千住検定》

9月に行われた南千住検定にて、98点以上のマイスターが3名誕生。このたび、南千住を代表する工芸品のひとつ七宝焼きで作られたマイスターバッジが授与されました。

マイスターバッジ授与

〇〇〇〇さん(2-4)、〇〇〇〇くん(3-1)、〇〇〇〇くん(3-3)

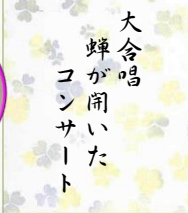
《2年生駅伝代表選手》

来年2月に開催される中学生「東京駅伝大会」の荒川区チームメンバーとして2年生の5名が選出されました。

〇〇〇〇くん(2-1)、〇〇〇〇くん(2-2)、〇〇〇〇くん(2-2)、
〇〇〇〇さん(2-2)、〇〇〇〇さん(2-3)



〇〇〇〇さんと受賞した句



大合唱
蝉が
コン
ンサ
ーイ
た
ト



表彰を受ける
〇〇〇〇くん



マイスターバッジ
授与の様子



駅伝代表選手の認証式



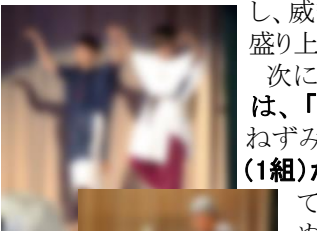
三首都交流会参加者



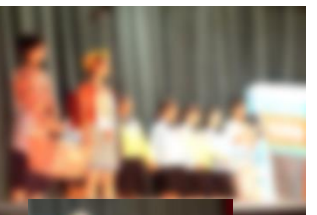
リーダーシップトレーニングセンター参加者



区ワールドスクール参加者



1年劇



2年劇

霜月祭（合唱コンクール・吹奏楽部演奏）



1年1組の皆さん



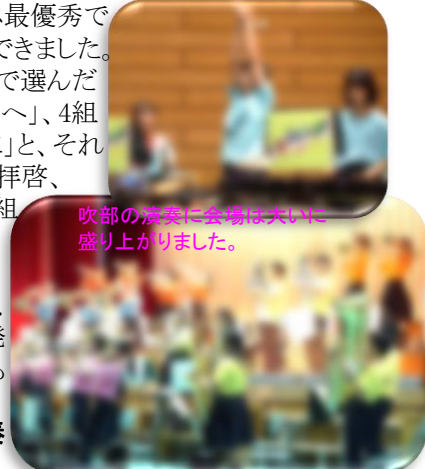
2年1組の皆さん



3年3組の皆さん

舞台発表の午後は、合唱コンクールが行われました。各クラス最優秀である金賞を目指して、2週間朝練、放課後練に熱心に取り組んできました。1年生は全クラスで課題曲の「大切なもの」を、2年生は各クラスで選んだ自由曲を、1組は「COSMOS」2組は「旅立ちの時」、3組は「明日へ」、4組は「時の旅人」を皆、力の限り歌いました。3年生は課題曲「春に」と、それぞれのクラスで自由曲を歌いました。自由曲は、1組は「手紙～拝啓、十五の君へ～」、2組は「道」、3組は「友～旅立ちの時～」、4組は「虹」でした。クラス一丸となって練習に励んできた成果は、美しい歌声となって会場を包み、聴く人の胸を打つ素晴らしいものでした。金賞を手にしたクラスは、1年1組、2年1組、3年3組でした。実行委員会合唱担当の〇〇〇〇さん(3-1)が結果を発表したときは、会場に歓声と悲鳴が交錯しましたが、どのクラスも金賞クラスと僅差で、甲乙つけがたいものでした。

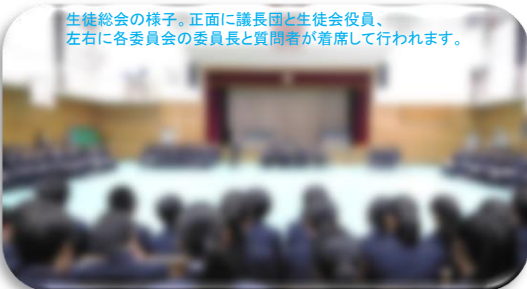
南千住二中霜月祭のフィナーレを飾るのは、吹奏楽部の演奏です。今回は、今年の夏に東京都中学校吹奏楽コンクールで演奏した「ナイトフライト～上空から見たある街の風景～」から始まり、「ピースサイン」、「宝島」、「ディズニー・アット・ザ・ムービーズ」と人気曲が続ぎ、アンコールの「Paradise Has No Border」まで5タイトルを披露しました。会場の全員が手拍子を送り、心ゆくまでその演奏とパフォーマンスを楽しみました。



吹奏部の演奏に会場は大いに盛り上がりました。

後期生徒総会

生徒総会の様子。正面に議長団と生徒会役員、左右に各委員会の委員長と質問者が着席して行われます。



11月9日(金)の午後に、後期生徒総会がアリーナで開かれました。この生徒総会は、9月改選された南千住二中31期生徒会本部が運営する初めての生徒総会です。各専門委員会の活動方針、活動計画などを会員である生徒全員が確認し、今期の生徒会活動を円滑にスタートして、皆で学校生活をより良いものにするを目的としています。総会の司会と議事の進行は中央委員会で承認された議長団が行い、議長を〇〇〇〇さん(2-1)、副議長を〇〇〇〇くん(3-3)、〇〇〇〇さん(2-3)、ほか書記として、〇〇〇〇くん(3-3)、〇〇〇〇さん(2-2)、

〇〇〇〇さん(1-2)、〇〇〇〇くん(1-3)が務めました。総会は、本部役員 〇〇〇〇さん(2-1)の開会のことばではじまり、次に新生徒会長 〇〇〇〇さん(2-4)から「各委員会の活動を活発にして、より良い学校にしましょう」というあいさつがありました。つづいて、本部役員 〇〇〇〇くん(2-1)から議事の進め方について説明されました。議事の協議は、はじめに、本部役員から生徒会全体の活動方針、また、本部役員 〇〇〇〇くん(2-2)から前期活動報告、本部役員 〇〇〇〇くん(1-1)から第31期スローガン「高めよ 自主性 深めよ 絆」、後期活動計画などが提案されました。次に各委員会の活動目標・方針などが提案され、各クラスの討議を経て出された質問や修正意見、賛成意見などが活発に出され、専門委員長がそれに対する答弁をしていきました。

活発な意見交換が行われた後、議長の呼びかけに応じた賛成者多数の起立で、生徒会本部、さらに各委員会の活動方針がすべて可決されました。総会の終わりには、「一人ひとりが学校で行われていることを理解していくことで、自立した活動ができ、より良い学校になると思います」と、本部役員 〇〇〇〇さん(1-2)からの話があり、全校生徒が決意を新たにしました。

質問者と回答する各委員会委員長。より良い学校づくりを目指して、どちらも真剣です。



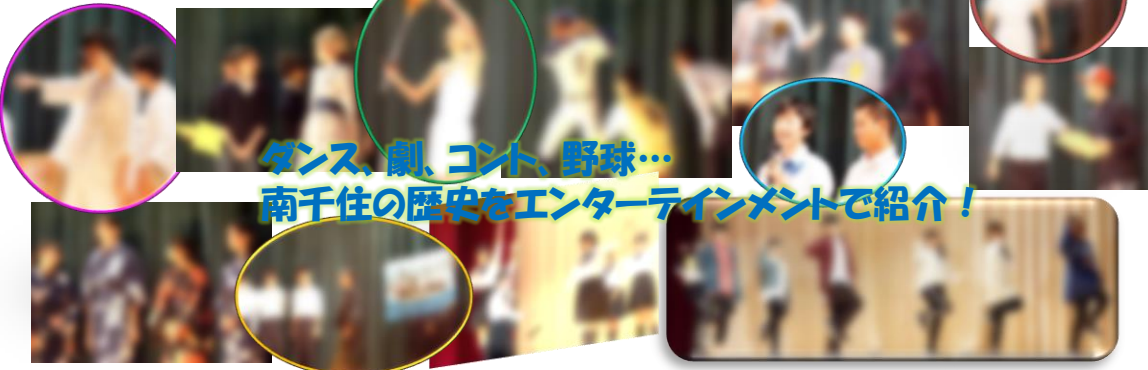
国語意見発表



英語スピーチ

そして、午前の部の最後を飾ったのは、3年生の地域学習劇「Minamisenu Background Story」です。今回は、幕末以降の近代史を通して南千住の街を振り返るストーリー。コソ通りにあった栗友亭で繰り広げられたコントも、スポーツセンターにあった野球場での試合シーンも、数々のアドリブも、実際に3年生が題材を探し台本にして練習を重ね演じました。3年生の成長を感じさせる渾身の演技に会場は拍手とそして笑いに包まれました。恒例のオープニングとエンディングのダンスも手拍子で会場と一体となり大いに盛り上がりました。楽しく学べる南千住二中の地域学習劇は観客の皆さんからも毎年大好評。3年生の劇は3年間の集大成と呼ぶにふさわしいへん素晴らしいものでした。

3年生地域学習劇「MBS」



ダンス、劇、コント、野球…南千住の歴史をエンターテインメントで紹介！

霜月祭（展示）

1階と2階のホールでは、生徒作品の展示が行われました。今年は学年や教科などの11団体から20種を超える作品が出品され、1階と2階のホールを利用して展示されました。3年生からは、修学旅行の体験学習で作った美しい「漆器の加飾」や「修学旅行のしおり表紙絵」、技術の授業で作成した「LEDあんどん」、美術の好きな国をイメージした「観光ポスター」など。2年生は、下田移動教室で作った「てびねりの器」やその思い出についてまとめた「壁新聞」、美術の授業で作成した「粘土の空き缶」など。1年生からは「清里移動教室の個人新聞」や美術の授業で描いた「レタリング」、社会の夏休みの宿題「世界の国パンフレット」などが出品され、各学年の日頃の学習や行事、活動の成果が伝わってきました。また、パソコン部からは「学校紹介ビデオ」、フラワーアレンジメント部からも珍しい花々を使った「アレンジメント作品」が出品され、会場を華やかに彩りました。実行委員会の展示担当の皆さんが展示の仕方や配置を工夫してくれ、展示が充実していて素晴らしいと感じたという来場者の皆さんからの感想もいただきました。ひとりひとりの活躍が記憶に残る霜月祭でした。



フラワーアレンジメント部

1年生、自分の誕生エピソード

3年生、観光ポスター

2年生、粘土の空き缶アート

3年生、漆器の加飾

3年生、アニマルクッション